

千葉歴史の散歩道

身近な遺跡を歩いて、動画で触れて

—東金市^{どうにわ}道庭遺跡—

千葉県教育庁教育振興部文化財課文化財主事 ^{なめき} 行木 ^{あやこ} 絢子



皆さんは、お住いの地域にどんな遺跡があるかご存じだろうか。私が地元の遺跡で特に身近に感じているのは、昨年度発掘調査を実施したばかりの「東金市^{どうにわ}道庭遺跡」である。

道庭遺跡は東金市家^{いえ}之子^{のこ}に所在し、大部分が県唯一の農業者研修教育施設である県立農業大学の敷地になっている。発掘調査は昨年度を含め4回行われ、縄文時代から奈良・平安時代の遺構を確認した。標高は約50mあり、農業大学を訪れた際は道中、急な坂道が続いたため息を切らしながら上り、当時の人々も行き来に苦労したのではないかと身をもって体感している。

昨年度の調査では弥生時代の遺構が多く、中でも目を引くのが方形周溝墓^{ほうけいしゅうこうぼ}である。方形周溝墓とは、溝で方形に区画し、内側に土を盛ったお墓で、溝の四隅を掘り残している。数基から数十基まとまって造られることが多く、道庭遺跡では過去の調査結果と合わせ、84基の方形周溝墓を検出した。

昨年度の調査で見つかった方形周溝墓は11基で、そのうち全体の規模がわかるものは一辺10m前後が多く、過去の調査では最小で7m、最大で20mであったという。遺物は11基中8基の周溝内から^{かめ}甕^{つぼ}の小破片や壺が出土しており、弥生時代中期後半の土器と思われる。ほかには、^{まがたま}勾玉2点も周溝から見つかった。

このような発掘調査の成果や様子は、一般の方が見学できる遺跡見学会で紹介される場合が多いが、新型コロナウイルスの感染拡大

により公開する機会が減っている。

そこで文化財課では令和2年度にYouTubeチャンネル「ちばの文化財紹介チャンネル」を開設し、県内の指定文化財の紹介や普及活動「土器ッと古代“宅配便”」の解説動画、県が実施する遺跡の発掘調査の様子を「おうちで遺跡見学会」として動画を公開している。

ご紹介した道庭遺跡の調査の様子は前編・後編に分けて載せており、方形周溝墓や土器の出土状況などを詳しく説明している。令和4年度も随時動画を増やしていく予定なのでぜひご自宅で県内の指定文化財と遺跡見学を楽しんでいただき、皆さんの周りにある遺跡に注目してもらえたら幸いである。



東金市道庭遺跡（令和3年度調査）



YouTube動画「おうちで遺跡見学会」

千葉教育 梅 (No. 677) 令和4年12月1日発行

編集・発行 千葉県総合教育センター（代表）神子 純一
〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13 TEL 043-276-1204
URL <https://www.ice.or.jp/nc/>
印刷所 千葉市療育センター いずみの家
〒261-0003 千葉市美浜区高浜4-8-3 TEL 043-216-2465